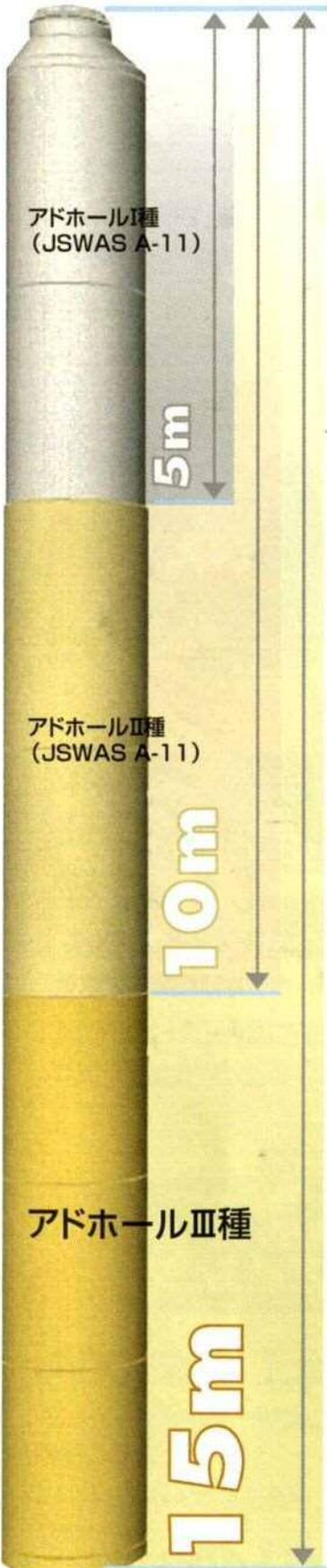


アドホール

日本下水道協会下水道用資器材製造工場認定 認定番号 第124504号

(下水道用コンクリート製マンホール)

特長



組立マンホール

1 品質

品質管理の徹底した工場製品で、水密性、耐久性に優れています。ボリュームのあるゴム輪を使用し、接合部の止水性に優れています。

2 耐震性

レベル1及びレベル2の地震動に対応しています。液状化による浮上を防止する機能を付加できます。

3 施工性

現場に応じた部材の組合せと積み重ねで、簡単に施工ができます。

4 経済性

現場打ちマンホールと比べ施工が迅速で、経済的です。

性能

接合部の水密性能

単位：MPa

性能区分	水 圧
I種	0.05
II種	0.10
III種	0.20



種類

I種・II種・III種

○性能区分は標準的な施工条件を想定し、埋設深さ及び水密性によりI種及びII種・III種に区分した。

【適用深さ】

種 類	深 さ
I種	5m
II種	10m
III種	15m

【接合部の水密性能】

単位：MPa

種 類	水 圧
I種	0.05
II種	0.10
III種	0.20

共 通

部材	呼び方	内径又は、内のり(cm)	高さ(cm)注
調整リング	共通	60	5, 10, 15
		90	10, 15
		120	15, 20

注) 下水道協会認定品は、I種およびII種までで、III種については、アドホール工業会規格品である。

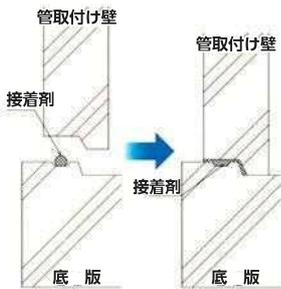
アドホール

接合部の構造と接合材

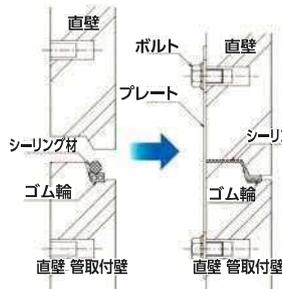
接合部の構造

金属プレートにより部材間が連結している区別Bタイプです

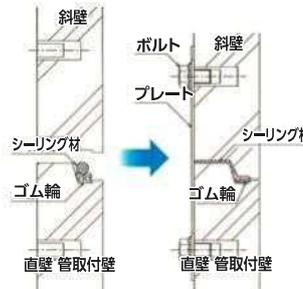
〇〇号、1号、2号、3号、4号、5号、底板部



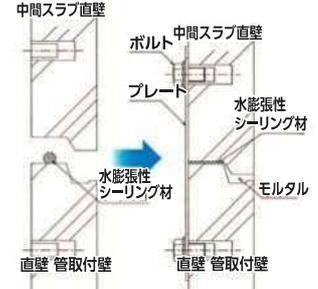
〇〇号、1号、2号、3号継手部①



〇〇号、1号、2号、3号継手部②



〇4号、5号継手部



接合材

接合材は、エポキシ系接着剤、ウレタン系シーリング材、水道用ゴム及び水膨張性ウレタン系シーリング材を使用します。緊結プレートは、金属製で亜鉛メッキを施したものを使用します。

ブロック据付工

■国土交通省都市局下水道部監修

(1箇所当たり)

マンホール種別	労力(人)			トラッククレーン 賃料(円)	諸雑費(%)	人孔深(m)
	世話役	特殊作業員	普通作業員			
円形60	0.17	0.17	0.34	0.17	6%	2.0m以下
0号,N1号	0.20	0.20	0.40	0.20		2.0m以下
1号	0.25	0.25	0.50	0.25		3.0m以下
2号	0.32	0.32	0.64	0.32		4.0m以下
3号	0.45	0.45	0.90	0.45		4m以下
	0.49	0.49	0.98	0.49		4.0mを超え5.0m以下
4号 ※	0.83	0.83	1.67	0.83		7.0m以下
5号 ※	1.25	1.25	2.25	1.25		7.0m以下

- 注) 1. 本歩掛りは蓋、枠の据付を含む。
 2. 諸雑費は接合材等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
 3. 上表の入孔深を超える場合は、労力及びトラッククレーン賃料の歩掛を以下により補正する。
 4. II種については、別途考慮する。
 5. トラッククレーンの仕様は、3号以下油圧式4.9t吊り、4号16t吊り、5号25t吊りを標準とする。

■1m当たり補正值

マンホール種別	労力(人)			トラッククレーン 賃料(円)
	世話役	特殊作業員	普通作業員	
円形60	0.01	0.01	0.02	0.02
0号,N1号	0.01	0.01	0.02	0.01
1号	0.01	0.01	0.02	0.01
2号	0.02	0.02	0.04	0.02
3号	0.02	0.02	0.04	0.02
4号 ※	0.05	0.05	0.10	0.05
5号 ※	0.05	0.05	0.10	0.05

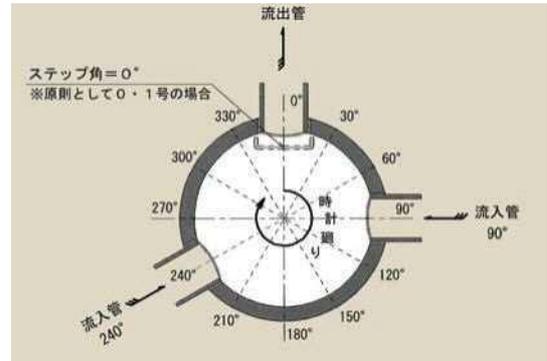
※4,5号は工業会歩掛です。

アドホールの削孔

日本下水道協会規格JSWAS A-10,A-11 認定番号 第124504号

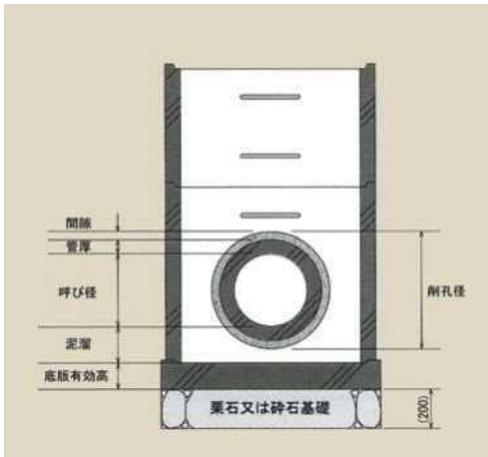
角度の決め方

流入管の削孔角度は、流出管の角度を0度として、マンホールから見た状態で右回り(時計回り)の角度で表します。ステップ位置も同様に角度で表します。



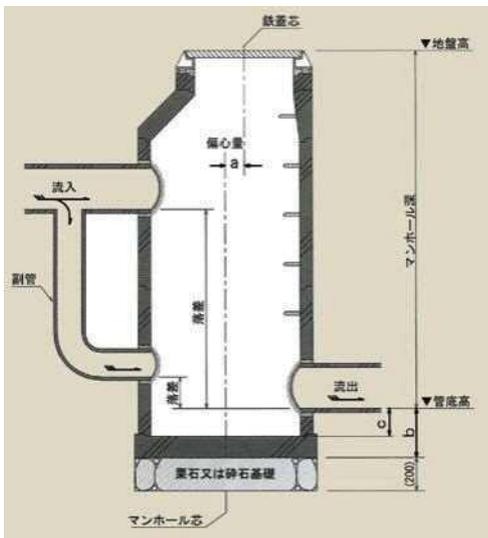
流出・流入管の削孔大きさ

単位：mm



呼び径	ヒューム管(外圧管・内圧管)			ヒューム管(推進管)			塩化ビニル管		
	管厚	削孔径	間隙	管厚	削孔径	間隙	管厚	削孔径	間隙
100	—	—	—	—	—	—	7	160	46
150	26	262	30	—	—	—	7.5	210	22.5
200	27	314	30	—	—	—	8	262	23
250	28	366	30	55	420	30	8.5	314	23.5
300	30	420	30	57	474	30	9	366	24
350	32	474	30	60	530	30	10	420	25
400	35	530	30	63	586	30	10	474	27
450	38	586	30	67	644	30	10	530	30
500	42	644	30	70	700	30	10	586	33
600	50	760	30	80	820	30	15	700	35
700	58	886	35	90	940	30			
800	66	1002	35	80	1030	35			
900	75	1120	35	90	1150	35			
1000	82	1234	35	100	1270	35			
1100	88	1346	35	105	1380	35			
1200	95	1480	45	115	1480	25			
1350	103	1680	40	125	1680	18			
1500	112	1840	40	140	1840	12			

設置位置の決め方



■ 0号～3号

単位：mm

呼び方	組合せ	蓋内径φ	a	b	c
0号	—	600	40	300	170
特種1号	—	600	115	300	170
	—	900	0	300	170
監種1号	—	600	115	310	170
	—	900	0	310	170
2号	—	600	290	370	220
	—	900	130	370	220
3号	2_1号	600	245	370	220
	—	900	300	370	220
—	3_1号	600	415	370	220

※ 参考値(4・5号)

単位：mm

呼び方	組合せ	蓋内径φ	a	b	c
4号	—	900	415	632	382
	4_1号	600	530	632	382
	4_1号	900	415	632	382
5号	—	900	615	662	382
	5_1号	600	730	662	382
	5_1号	900	615	662	382

a:蓋芯とマンホール芯の偏心量 b:流出管底から基礎上面までの高さ c:流出管底から底板上面までの高さ